**福島ロボットテストフィールド(RTF)使用計画書**

作成日： 年　　月　　日

作成者(使用責任者)

事業者名：

所属：

役職・氏名：

使用計画書記載事項チェック項目

|  |
| --- |
| 項目１．RTFの試験設備（塵埃、防水、降雨・霧雨、耐風、耐圧）をご使用ですか。 |
| 項目２．『無人航空機エリア』、『水中・水上ロボットエリア』、『インフラ点検・災害対応エリア』の  施設もしくは屋内試験場をご使用ですか。 |
| 項目３．展示会や見学会などのイベントでのご使用ですか。 |
| 項目４．一般道を走行できないような特殊な車両、建機(重機)、水域ロボットやその他のロボットを  ご使用ですか。 |
| 項目５．無人航空機や有人航空機（ヘリ、滑空機など）、空飛ぶクルマをご使用ですか。 |
| 項目６．事前に法的な許可承認等が必要な使用内容ですか。 |
| 項目７．危険物(ガソリン等)の持ち込みはありますか。 |
| 項目８．浪江滑走路の使用やRTF敷地外での実施または煙やサイレン等の騒音の発生に該当しますか。 |

同意事項

|  |
| --- |
| [福島ロボットテストフィールド共通使用規約](https://www.fipo.or.jp/robot/wp-content/uploads/2020/07/%E7%A6%8F%E5%B3%B6%E3%83%AD%E3%83%9C%E3%83%83%E3%83%88%E3%83%86%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%95%E3%82%A3%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%89%E5%85%B1%E9%80%9A%E4%BD%BF%E7%94%A8%E8%A6%8F%E7%B4%84_1_0.pdf)を確認の上、内容に同意されますか。 |

　※使用者が施設、設備、備品等を毀損等させた場合は、使用者にその損害を賠償していただきます。

　　特に、強風時にドアを破損してしまう事故が多発しておりますので十分ご注意ください。

　※RTF構内における車両の制限速度は30km/hです。

|  |
| --- |
| RTFを使用する際、経済産業省の[安全保障貿易管理](https://www.meti.go.jp/policy/anpo/seminer_document3.html)に基づく適切な[輸出管理](https://www.meti.go.jp/policy/anpo/seminer/shiryo/anpo_level1.pdf)を行いますか。 |

　※参加者の中に日本の非居住者または特定類型に該当する居住者がいる場合、使用者側で適切な輸出管理を行っていただきます。

|  |
| --- |
| 施設には不定期に管理業者による清掃・芝刈り・工事・巡回等が入ります。安全上、機密上などの問題により管理業者の立ち入りが難しい場合は福島ロボットテストフィールド技術課へお知らせください。（清掃は１回につき３０分程度です。） |

確認事項

|  |
| --- |
| 使用事例として使用中に実施された試験の写真や概要などをRTFのホームページで紹介してもよろしいでしょうか。（RTF使用事例⇒<https://www.fipo.or.jp/robot/case-log>） |

　　【提出先】

福島ロボットテストフィールド　技術課　[robot3@fipo.or.jp](mailto:robot3@fipo.or.jp)

　【提出期限】

　■（項目8が「はい」の場合）

　　福島ロボットテストフィールド使用開始の日の4週間前

　■（項目8が「いいえ」の場合）

　　福島ロボットテストフィールド使用開始の日の２週間前

**※上記の提出期限までにご提出いただけない場合、ご予定どおりにRTFをご使用いただけない場合がありますので、予めご了承ください。**

**※使用計画書にご記載いただいた情報は、『公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構情報管理規程』に基づき適切に管理するものとし、目的外の利用はいたしません。**

　　次ページ目以降に使用計画書の本文を記載すること。

**※※ご提出の際は、紫色の文字を削除してください。※※**

**※※また、該当しない項目や使用しなかった様式例は削除するなど、適宜体裁を整えてください。※※**

**※※自社資料等、別紙で作成した資料から引用する場合、該当箇所が分かるようにご記載ください。※※**

**➡（例）別紙「●●●●」の●ページ目、●行目に示すとおり。**

1. 使用目的

・当該使用の目的を記載してください。

1. 実施内容

・当該使用における具体的な実施内容を記載してください。

1. スケジュール

・使用期間1日ごとに入場から退場までの大まかなスケジュールを記載してください。

・必ず使用時間内に撤収まで完了することが分かるように記載してください。

1. 緊急連絡体制

・万が一事故等が発生した場合の連絡体制をご記載ください。

・必ず現場責任者の氏名と連絡先をご記載ください。

・[様式例１](#_【様式例1】緊急連絡体制)を用いるか、或いは相当する情報を挿入してください。

（例）様式例1に示す通り。

1. 安全管理体制（項目２が「はい」に該当する場合）

・当該使用に係る人員の役割と所属機関名をご記載ください。

　→役割の例：安全管理責任者、安全主任、操縦者、補助者、監視者など

・[様式例2](#_【様式例２】入場者情報)を用いるか、或いは相当する情報をご記入ください。

（例）様式例2に示す通り。

1. 車両情報（項目2が「はい」に該当する場合）

　　・使用当日、RTFに来所する際の車両の台数をご記載ください。

→使用施設に入場する車両だけでなく、研究棟の来客駐車場に停める車両も含みます。

→車両ナンバーは不要です。

　　・大型重機や大型の運搬トラックなどがある場合は、その詳細もご記載ください。

1. 実施範囲及び人員配置（項目２が「はい」に該当する場合）

　　・実施範囲を平面図で図示してください。

・平面図には[様式例３](#_【様式例3】RTF平面図)を用いるか、或いは一般的な衛星写真やRTFホームページで公開している図面などを用いても結構です。

・人員配置（監視者、操縦者、見学者、指揮所等）も記載してください。

・飛行試験の場合は、飛行経路や飛行高度、ホームポイントなども記載してください。

・実施範囲は、予期せぬ事故が起きた場合に被害がでることが予想される（第三者の立ち入りを制限する必要がある）範囲が使用承認を受けている施設になるべく収まるように考慮してご設定ください。

（例）様式例3に示す通り。

1. 安全対策

・実施内容に応じて、『想定される危険』 (火災、機体の操縦不能等) を特定し、特定した危険への安全措置・防止処置などの『危険への対策や対応』の内容を記載してください。

・[様式例4](#_【様式例4】安全対策)を用いるか、或いは相当する情報を挿入してください。

（例）様式例4に示す通り。

1. 使用機体（項目４や項目５が「はい」に該当する場合）

・使用される機体の情報をご記載ください。

・項目４の場合は[様式例5-1](#_【様式例4-1】一般道を走行できないような特殊な車両、建機(重機)、水)を用いるか、或いは相当する情報を挿入してください。

・項目５の場合は[様式例5-2](#_【様式例4-2】無人航空機や有人航空機（ヘリ、滑空機など）、空飛ぶクル)を用いるか、或いは相当する情報を挿入してください。

（例）様式例5-1に示す通り。

1. 許可承認等（項目６が「はい」に該当する場合）

・当該使用に伴う法令等の手続がある場合、その内容および許可承認の取得状況を記載してください。

・国土交通大臣の許可が必要な無人航空機の特定飛行に該当する飛行を行う場合、許可通知の写しを必ずご提出ください。

・その他の法令等の許可に係る関係書類（申請書、許可書・承認書等）につきましても、写しのご提出を求める場合がございます。

1. 危険物の持ち込み（項目７が「はい」に該当する場合）

・持ち込む危険物の名称及び数量、管理方法などを記載してください。

1. 安全装備等の着用

・安全装備の着用について明記してください。

・RTFでは、開発基盤エリアを除くエリアの屋外では常時ヘルメットを着用することが必須です。

　→原則としてヘルメットは使用者ご自身でご用意ください。

・屋内水槽試験棟を使用する場合、水槽に近づく際には救命胴衣を着用してください。

　→救命胴衣は屋内水槽試験棟に8着は備え付けがございます。

・ご使用の内容に応じて、保護メガネ、安全靴の着用なども適宜追加してください。

　（例）開発基盤エリアより外の屋外では常時ヘルメットを着用する。

機体動力運転に関わる作業を機体接近距離内で行う場合、保護メガネと革手袋を着用する。

1. 近隣への周知事項（項目８が「はい」に該当する場合）

・項目８に該当する場合、近隣住民などへの周知にご協力ください。

・その場合、周知用のチラシを別途ご作成ください。

・周知チラシのデータをRTFへご提出いただければ、RTFが関係する近隣へ周知など協力させていただきます。

・近隣へ周知が必要と思われる情報の例は下記のとおりです。

　　　―実施者

　　　―実施日時

　　　―実施場所、範囲

　　　―実施内容、目的

　　　―使用機体、機材

　　　―問い合わせ先（使用者およびRTF技術課）

・周知チラシは右上に発行日、発行者名（貴社名）をご記載ください。

・その他、ご使用の内容に応じて周知が必要と思われる情報を簡潔に、A4表1枚に入るようにまとめてください。

（例）別紙「周知チラシ案」のとおり。

1. 特記事項

・以下の例を参考に、特記事項があればご記入ください。

―多数の車両が入場する。

―多数の見学者やメディア取材がある。

―機材をRTFへ直接配送する計画がある。

―貸与を希望する機材がある。（机、椅子、ヒーターなど）

## 【様式例1】緊急連絡体制

**事故発生**

**発見者**

発見

連絡

**消防・救急：119**

**警察：110**

通報

**現場責任者：（当日現場にいる方）**

**連絡先：（携帯電話直通の番号）**

**--**

連絡

**福島ロボットテストフィールド技術課：0244-25-2476**

**※ご使用中の機体のトラブル等で実施範囲外に影響が及ぶ恐れが生じた場合、**

**直ちに福島ロボットテストフィールド技術課へお知らせください。**

**その他関係各所**

**連絡先1：**

**連絡先2：**

**連絡先3：**

緊急時RTFから責任者へご連絡することがございます。

## 【様式例2】安全管理体制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 役割※1 | 氏名 | 所属機関名 |
| ★安全管理責任者 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 【備考】※2 | | |

(※1) 役割の例：安全管理責任者は必須です。その他、安全主任、操縦者、補助者、監視者など

(※2) 見学者やメディア取材などがある場合、その人数などを記載してください。

## ダイアグラム, 設計図 自動的に生成された説明【様式例3】RTF平面図

**※平面図は、ご使用の施設を拡大するなど、適宜画像を編集してお使いください。**

**【水中・水上ロボットエリア】**

**B-1:水没市街地ﾌｨｰﾙﾄﾞ**

**B-2:屋内水槽試験棟**

**【開発基盤エリア】**

**D-1:研究棟**

**D-2:試験準備棟**

**D-3:屋外試験準備場**

**D-4:簡易計測室A**

**D-5:簡易計測室B**

**【インフラ点検・災害対応エリア】**

**C-1:試験用橋梁**

**C-2:試験用ﾄﾝﾈﾙ**

**C-3:試験用ﾌﾟﾗﾝﾄ**

**C-4:市街地ﾌｨｰﾙﾄﾞ**

**C-5:瓦礫･土砂崩落ﾌｨｰﾙﾄﾞ**

**【無人航空機エリア】**

**A-1:南相馬滑走路**

**A-2:南相馬滑走路附属格納庫**

**A-3:ﾍﾘﾎﾟｰﾄ**

**A-4:通信塔**

**A-5:ﾈｯﾄ付飛行場**

**A-6:風洞棟**

**A-7:連続稼働耐久試験棟**

## 【様式例4】安全対策

|  |  |
| --- | --- |
| 想定される危険 | 危険への対策や対応 |
| (例)  ・強風などにより、無人航空機の飛行が制御不能に陥る。  ・RTFの上空にヘリ等が飛来し、飛行中の無人航空機に接近する。 | （例）  ・飛行中は計測担当者が常に気象状況を監視する。  ・監視者が周囲の状況を常に確認し、有事の際には機体の着陸、帰還などを現場責任者が判断する。 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

* **無人航空機の飛行試験の場合、万が一無人航空機が制御不能になった場合の対策（なるべく実施範囲内に不時着させる、落下速度を緩和する、等）を明記してください。**

## 【様式例5-1】一般道を走行できないような特殊な車両、建機(重機)、水域ロボットやその他のロボットの情報

（※機体の種類が複数ある場合、様式を複製してご使用ください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 名称（型式）： | |
| 重量(最大積載時の重量)： | 外形寸法： |
| 使用する電波の周波数： | |
| 実機の写真、または図面 | |
| 第三者賠償保険に加入していますか。： | |
| 第三者賠償保険の内容： | |

## 【様式例5-2】無人航空機や有人航空機（ヘリ、滑空機など）、空飛ぶクルマの情報

（※機体の種類が複数ある場合、様式を複製してご使用ください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 製造者名： | 名称（型式）： |
| 重量(最大離陸重量)： | 外形寸法： |
| 届出番号、製造番号など（無人航空機の場合、JUから始まる登録番号）： | 使用する電波の周波数： |
| 実機の写真 | |
| 機体の製造者の定める方法で機体を整備・点検していますか。： | |
| 第三者賠償保険に加入していますか。 | |
| 第三者賠償保険の内容： | |
| 天候などによる機体の使用中止基準(風速、天候等)：  *※数値などを具体的に明記してください。* | |